令和3年度　南信州広域連合地域自立支援協議会

こども部会　　活動報告

[１]　本年度のねらい

　　・学習会をもち、支援者の支援力アップ、資質向上を図る。

　　・現状の中から出された問題や課題について、地域資源の発掘、情報共有、意見交換等を通して問題解決の方法を探り、地域のシステム作りに取り組む。

　　・関係機関を知り、連携をはかる。

[２]　部会の開催及び取り組み内容

　第1回（6月18日）　　　26名参加

　　　　　・部会長、副部会長の承認　自己紹介　自立支援協議会について

・令和3年度活動計画について

　　　　　・放課後等デイサービスについての周知用チラシについて（内容確認）

・情報共有（新型コロナ感染拡大状況下での活動内容・発達障がいサポマネより他）

　第2回（7月16日）　　　24名参加

　　　　　・放課後等デイサービス周知用チラシの配布方法・配布先について

　　　　　・学校との連携について情報交換

　第3回（10月15日）　　　33名参加

　　　　　・研修会『発達支援・家族支援の基本について』

講師　公認心理士　清水多加志先生

第4回（12月17日）　　　19名参加

　　　　　・研修会の感想

・事業所の情報発信について

・県療育部会より障がい児通所支援の在り方に関する検討会報告

　第5回（2月18日）　　　　26名参加

　　　　　※新型コロナウイルス対策まん延防止等重点措置期間中のためオンライン開催

・放課後等デイサービスの情報発信について

　　　　　・本年度のまとめと来年度の方向性

　　　　　・情報共有（新型コロナ感染拡大状況下での活動の工夫）

【成果】

・新型コロナウイルス感染拡大状況下における各事業所の活動内容や工夫についての情報共有を年間通して行った。事業所ごと手探りで新たな取り組みや活動の見直しを行っており、それらを共有でき現場に活かすことにつながった。

・放課後等デイサービス周知用チラシについては、福祉サービスを学校や保護者に知ってもらうための一つのツールとなった。引き続き活用し、福祉と教育、医療との連携を進めたい。

・研修会は、具体的ですぐに現場で生かせる内容であり次年度も開催を希望する声が多かった。

【令和４年度にむけて】

・引き続き講演会、学習会、研修会、情報交換会の機会を持ち資質の向上につながるようにする。

・「学校との連携について」周知文書の活用状況の把握と、地域の課題について検討する。

・医療的ケア児等支援連携推進会議との情報共有。